

報道機関の皆さまへ

令和5年12月20日

取材依頼



1. 「健康事業所宣言」登録事業所数が2,000社を突破
2. 福島支部加入被保険者の喫煙率について(令和4年度)



協会けんぽ福島支部

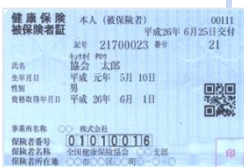
公式キャラクター **ケンタンくん**

協会けんぽは、主に中小企業で働く従業員やその家族の皆様が加入する公的健康保険の保険者です。福島支部では、約63万人、福島県の人口の約1/3が加入者となっています。

令和5年9月時点

適用事業所数: 37,647社

加入者数: 626,025人



全国健康保険協会福島支部

〒960-8546

福島市栄町6-6 ユニックスビル8階
企画総務グループ 長正(ながしょう)

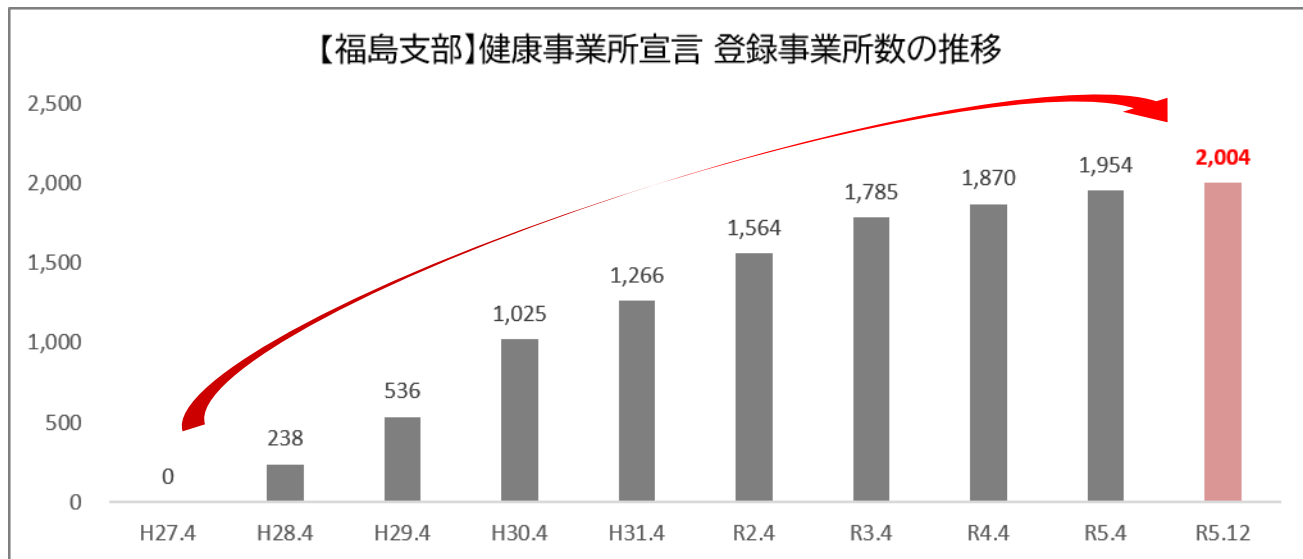
TEL024-523-3916

※17:15以降は、留守番電話に切り替わります。
ご連絡をいただく際には17:15前にお電話願います。

1. 「健康事業所宣言」登録事業所数が2,000社を突破

平成27年度に開始した「健康事業所宣言」事業の登録事業所が令和5年12月に2,000社を超えたことをお知らせいたします。

※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。



事業の歩み

○ 平成27年度 ・事業開始

共催	後援		
福島県	福島県商工会議所連合会	福島県商工会連合会	福島県中小企業団体中央会
	福島労働局	連合福島	福島県経営者協会連合会
	福島県中小企業家同友会	福島県法人会連合会	(順不同)

○ 平成29年度 ・福島県理学療法士会との協同による「運動指導」開始
・ふくしま健康づくり優良事業所の認定
(「ふくしま健康経営優良事業所」認定制度の前身)

○ 平成30年度 ・福島県歯科医師会との協同による「歯周病講習会」開始
・福島産業保健総合支援センターとの協同による「メンタルヘルスセミナー」開始
・健康度測定器 (血管年齢測定器など) の貸出開始
・「ふくしま健康経営優良事業所」認定制度の開始 (福島県との共同認定)

○ 令和2年度 ・民間業者を活用した「出前講座」の開始

○ 令和5年度 ・登録事業所数が2,000社を突破

宣言（取組）項目

共通取組① 健康診断の受診

目標：健診受診率（協会けんぽでのデータ取得率） 80%

法令に基づき、従業員に健康診断を実施します。

共通取組② 特定保健指導の利用

目標：特定保健指導実施率 50%

積極的に特定保健指導を利用し、生活習慣の改善が必要と判定された従業員を支援します。

共通取組③ 再検査・治療の推奨

健康診断の結果、「要精密検査」「要治療」の判定があった従業員には、医療機関を受診するよう声かけを行います。

選択取組④ わが社の健康プラン

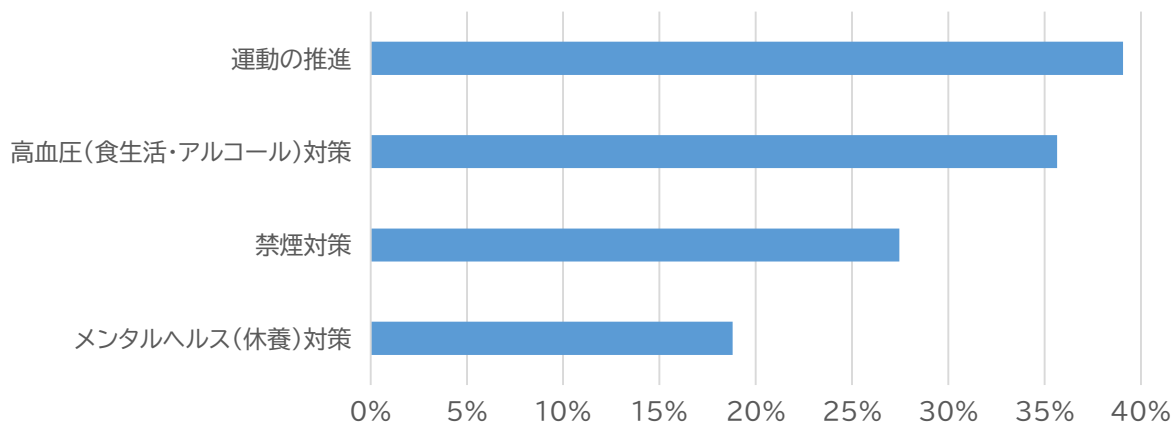
事業所ごとの健康課題や興味のあることに合わせて、共通取組以外の取り組みを行います。

例えば・・・

- 喫煙対策**
社有車を禁煙に！
昼休憩以外は禁煙に！
- 運動の推進**
ストレッチ時間の設定！
運動セミナーの実施！
- メンタルヘルス対策**
ノー残業デーの
設定！
- 食生活対策**
社内の自動販売機を
無糖飲料に変更！
社内に体重計を設置！
- 高血圧対策**
社内に血圧計
を設置！



わが社の健康プラン取組内容（令和4年度調査）



ストレッチ時間の設定に代表される「運動の推進」や、事務室内に血圧計の設置に代表される「高血圧対策」に取り組む事業所が多いようです。

協会けんぽの健康づくり支援

宣言書の贈呈



アクリルフレームと併せて贈呈

社内外へのPR

保健師による事業所訪問

「宣言はしてみたが、何をやったらよいかわからない」

保健師が事業所訪問して健康づくりのアドバイス

相談・アドバイス

- ・出前講座(研修への講師派遣)
- ・健康度測定器の貸出
- ・健康に関するDVDの貸出

セミナー各種貸出

情報提供

健康度レポートの提供

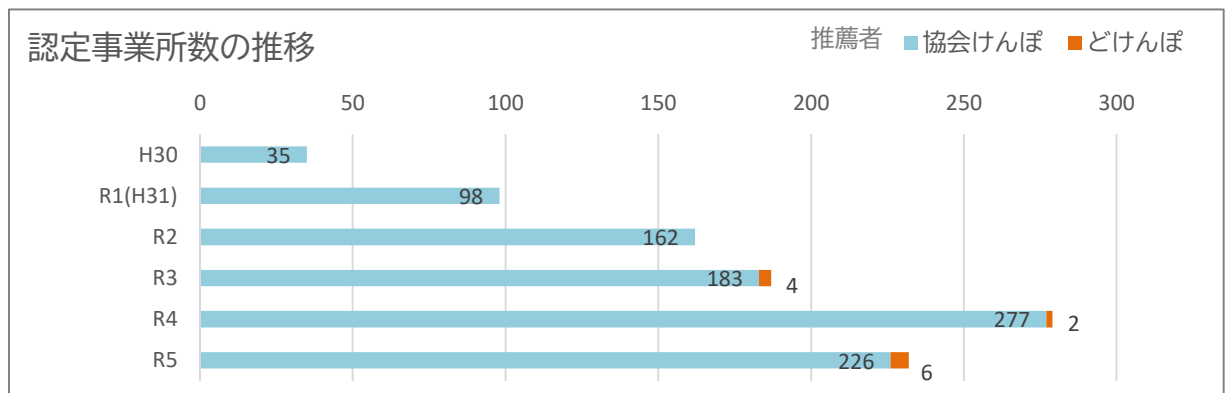
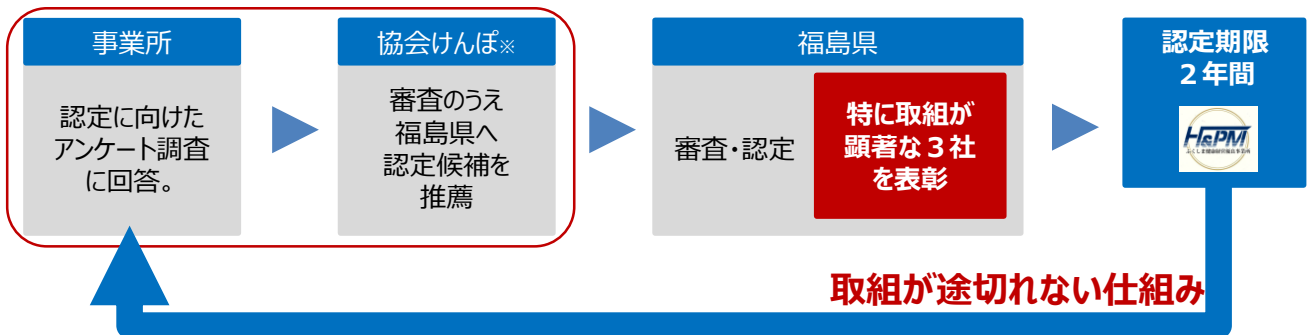
健診結果・医療費データを基に作成した健康度レポートを毎年提供



その他、健康情報誌やポスターを提供

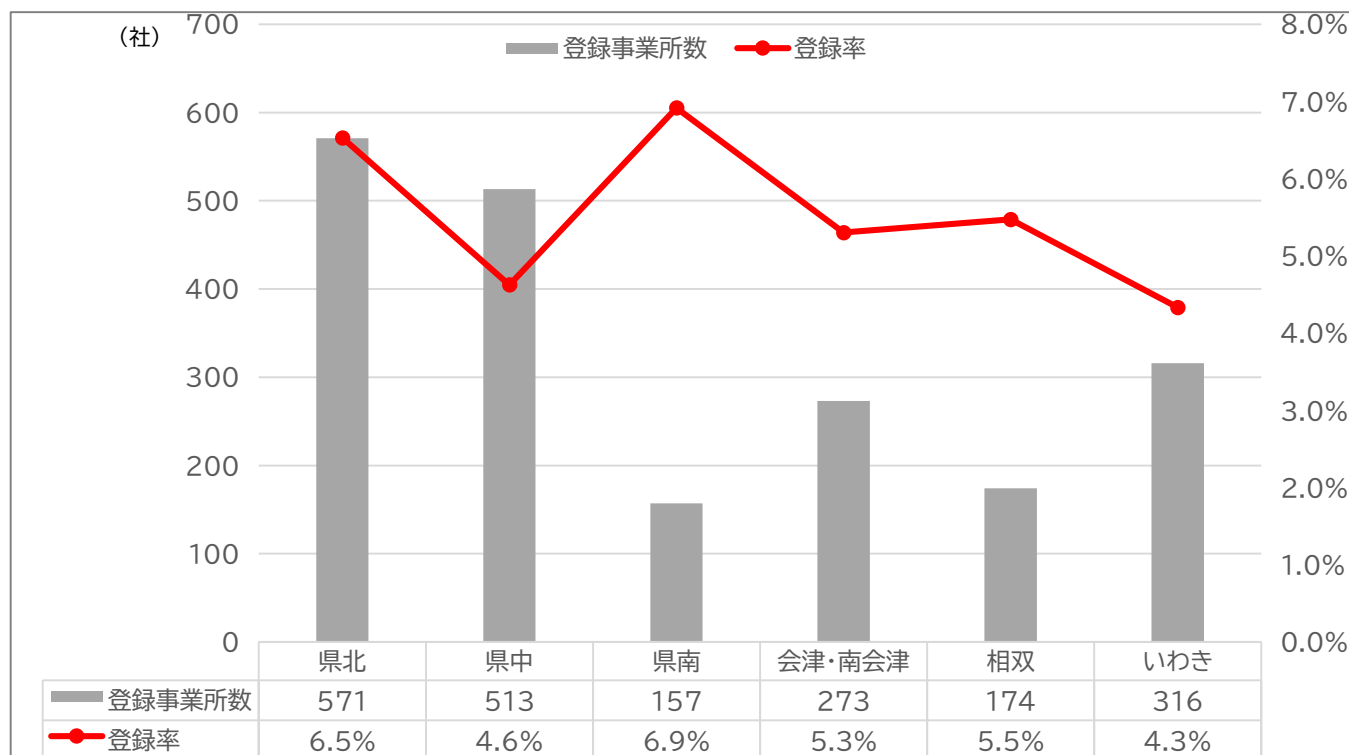
「ふくしま健康経営優良事業所」認定制度について (平成30年度～)

- 福島県と協会けんぽ※が協同で、従業員の健康づくりに関して積極的に取り組んでいる事業所を認定する制度。 ※ 令和3年度から全国土木建築国民健康保険組合(どけんぽ)が参加

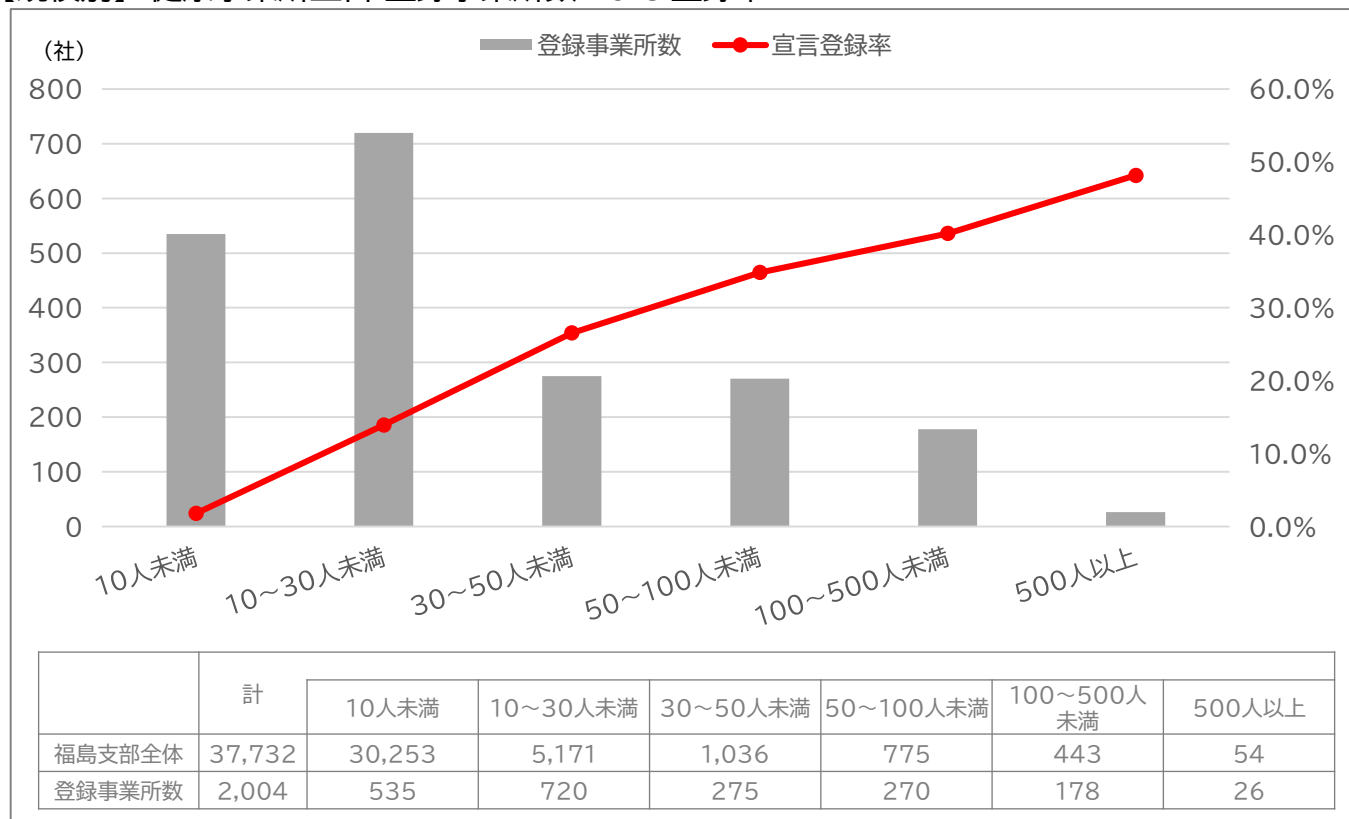


参考（健康事業所宣言 登録状況）

【二次医療圏別】健康事業所宣言 登録事業所数および登録率



【規模別】健康事業所宣言 登録事業所数および登録率



※支部全体の事業所数は令和5年10月時点

2. 福島支部加入被保険者の喫煙率について(令和4年度)

厚生労働省が令和4年度に実施した国民生活基礎調査において、福島県はたばこを吸う人の割合(喫煙率)が**全国ワースト1位**でした。



令和4年度	男女計	性別	
		男性	女性
全国	16.1%	25.4%	7.7%
福島県	21.4%	33.2%	10.5%

※国民生活基礎調査とは・・・

保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を厚生労働省が調査するものです。3年ごとに大規模、中間の各年は簡易な調査が行われ、調査対象は全国から無作為に抽出されます。

このたび、協会けんぽでは保有する健康診断データ(問診)を活用し、福島支部加入の被保険者の喫煙率を集計しましたので、お知らせいたします。

質問項目	回答
1-3 現在、aからcの薬の使用の有無 [※]	
1 a. 血圧を下げる薬	①はい ②いいえ
2 b. インスリン注射又は血糖を下げる薬	①はい ②いいえ
3 c. コレステロール [※] を下げる薬	①はい ②いいえ
4 医師から、脳卒中(脳出血、脳梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ
5 医師から、心臓病(狭心症、心筋梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ
6 医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、治療(人工透析)を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ
7 医師から、貧血といわれたことがあります。	①はい ②いいえ
8 現在、たばこを習慣的に吸っている。 (※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月間も吸っている者)	①はい ②いいえ
9 20歳の時の体重から10%以上増加している。	①はい ②いいえ
10 1回30分以上の軽く活かか運動を週2日以上1年以上実施	①はい ②いいえ

現在、たばこを習慣的に吸っている

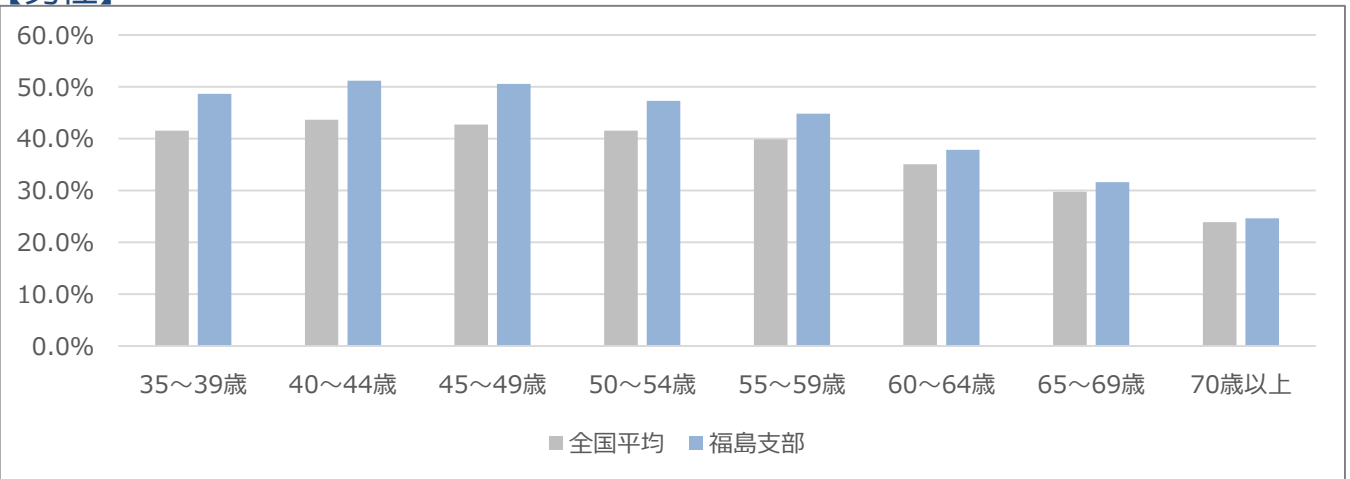
はい / いいえ

※協会けんぽが保有する健康診断データとは・・・

医療保険者(協会けんぽなどの保険証の発行元)は40歳以上の加入者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した健康診断を行うよう国から義務付けられています。協会けんぽでは保健事業として、被保険者に関しては対象年齢を35歳以上に拡大し、35～74歳までの健康診断費用の補助を行っています。協会けんぽが費用補助を行う健康診断を利用された方、また事業主から提供を受けた定期健康診断の結果を元に、加入者の健康状態のデータ分析や、特定保健指導、重症化予防の事業を行っています。

福島支部加入被保険者の喫煙状況（年齢階級別）

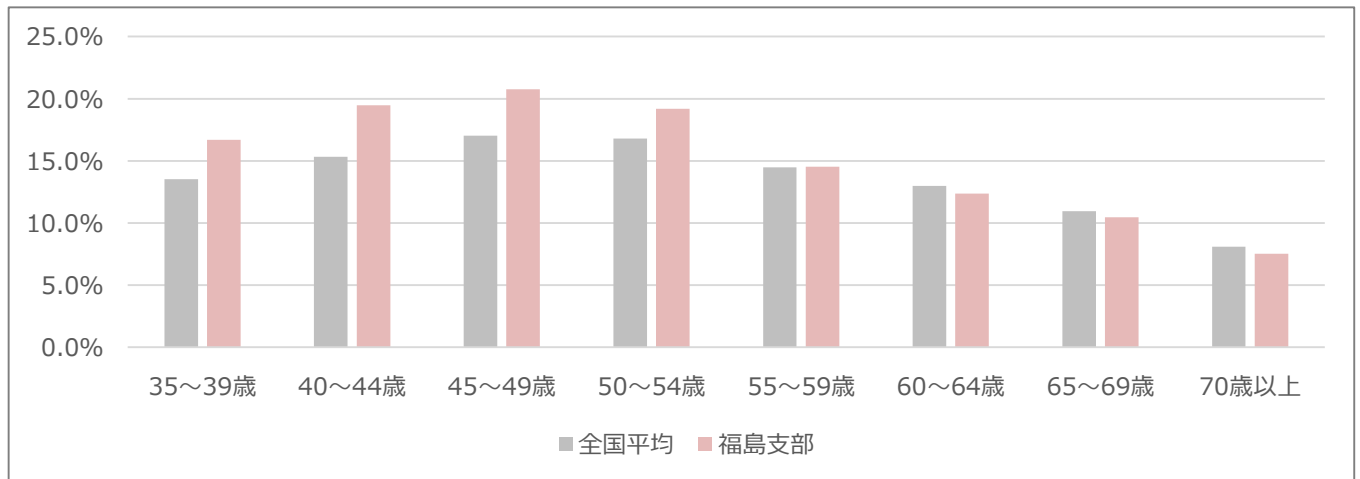
【男性】



男性	計	年齢階級							
		35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
全国平均	39.3%	41.6%	43.7%	42.7%	41.6%	39.9%	35.1%	29.7%	23.9%
福島支部	44.2%	48.6%	51.2%	50.6%	47.3%	44.8%	37.9%	31.6%	24.7%
全国平均との差	4.9%	7.1%	7.5%	7.9%	5.7%	4.9%	2.8%	1.9%	0.7%

男性の喫煙率は全ての年齢階級において全国平均を上回っていますが、特に40歳代の喫煙率は50%を超えて最も高くなっています。また、35～49歳代の喫煙率は全国平均から7.0%以上の乖離があり、最も差が大きい状況です。

【女性】



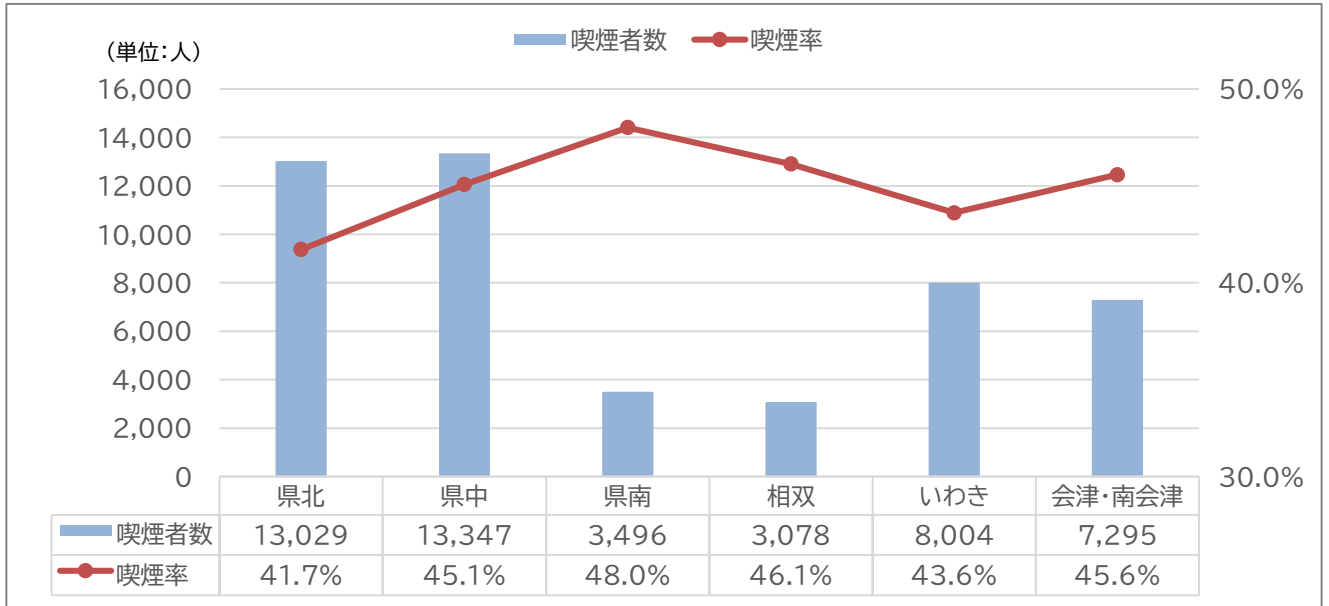
女性	計	年齢階級							
		35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
全国平均	14.9%	13.5%	15.3%	17.0%	16.8%	14.5%	13.0%	10.9%	8.1%
福島支部	16.8%	16.7%	19.5%	20.8%	19.2%	14.5%	12.4%	10.5%	7.5%
全国平均との差	1.9%	3.1%	4.1%	3.7%	2.4%	0.1%	-0.6%	-0.5%	-0.6%

60歳代以上の喫煙率は全国平均を下回っていますが、35～59歳代の年齢階級では全国平均を上回っています。45～49歳の喫煙率が最も高く、男性同様に全国平均との乖離は35～49歳代の差が大きい状況です。

福島支部加入被保険者の喫煙状況（二次医療圏別）

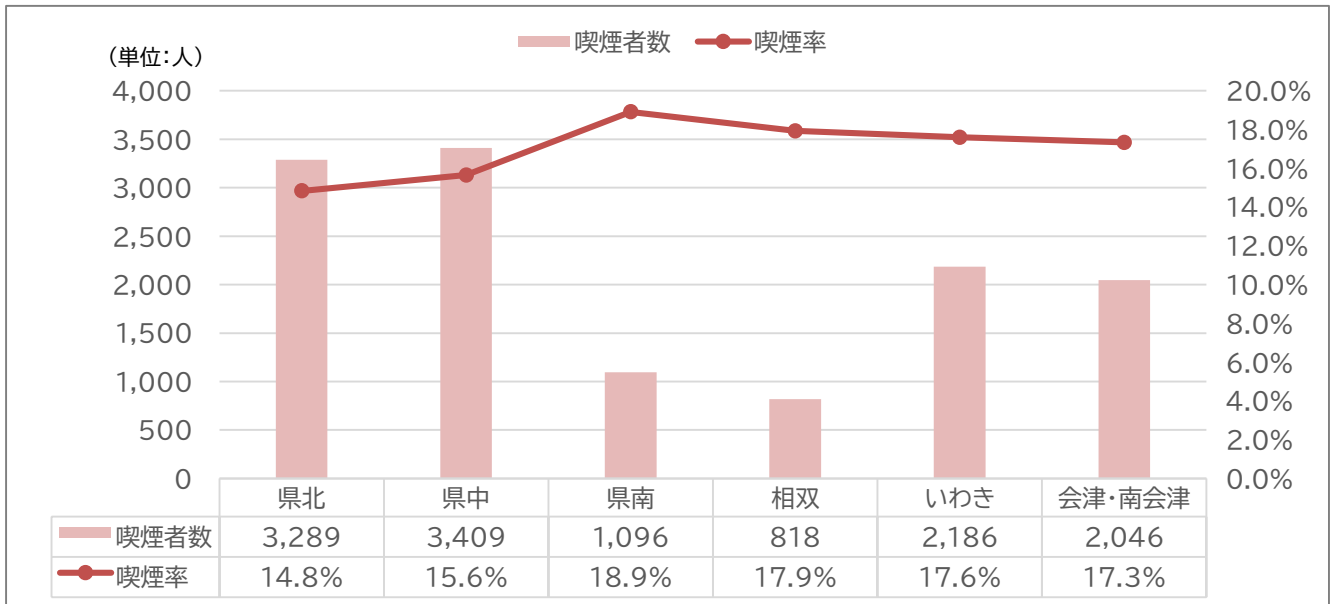


【被保険者／男性】



県中地区の喫煙者数が最も多くなっています。
最も喫煙率が高い県南地区と、最も低い県北地区では6.3%の差があります。

【被保険者／女性】



男性同様に、県中地区の喫煙者数が最も多く、喫煙率は県南地区が最も高くなっています。
一方で、喫煙率が最も高い県南地区と低い県北地区の差は4.1%と、男性よりは差が小さくなっています。

福島支部加入被保険者の喫煙率は、厚生労働省の調査(国民生活基礎調査)の結果よりも更に高い状況にあります。

また、働き盛り世代の喫煙率は全国平均との乖離が顕著です。

喫煙だけではなく、福島県民は急性心筋梗塞による死亡率やメタボリックシンドローム該当率などの項目においても、全国と比較して悪い状態が続いており、今後、高齢化に伴い更なる健康状態の悪化が危惧される状況です。

事業所における健康づくりを当たり前のこととして、健康づくりの輪を福島県内に広げるべく、今後も取り組んでまいりますので、各報道機関様に置かれましては、本内容について取材・報道をお願い申し上げます。



協会けんぽ福島支部

公式キャラクター

ケンタくん

本内容は、R5.12.26に
福島支部ホームページに
掲載予定です。